



常任委員会の審査報告

総務委員会

〔条〕 火葬場条例の改正

〔質問〕 川副葬祭公園の廃止に関し、地元自治会長からは反対の意見も出ているようだが、市の方針は変わらないのか。

〔答弁〕 財政状況も踏まえて施設の集約化を進める必要がある。地元自治会長には丁寧の説明し、ご理解いただけるよう努めたい。

〔質問〕 川副葬祭公園の火葬炉は2基あるとのことだが、他施設と比べ、1基当たりの利用件数が少ないのはなぜか。

〔答弁〕 川副葬祭公園は待合室がかなり狭く、2基同時に使用すると待合の場所が足りないため、現在1基で運用している。



川副葬祭公園視察の様子

委員会で審査した議案

- 一般会計補正予算（第3号）
 - 一般会計補正予算（第4号）
 - 職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の改正
 - 火葬場条例の改正
 - 市税条例の改正
 - 佐賀市議会議員及び佐賀市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の改正
 - 報酬及び費用弁償支給条例の改正
- その他 2 件

〔質問〕 市の火葬場で1日の対応能力を超えた場合に、他自治体の火葬場と連携した広域的な運用は行っているのか。

〔答弁〕 他自治体とは火葬場が使用不能となった場合の協定を結んでいる。通常時に市外の施設を使用する場合は、市外料金となり高くなるため、つくし斎場の対応件数を増やすなどとして、柔軟に対応している。

〔審査結果〕 全ての議案について、可決または承認すべきものと決定。

福祉教育委員会

嘉瀬小学校校舎長寿命化改良（建築）工事請負契約の一部変更について

〔質問〕 変更内容の「建築基準法上必要な防火戸の追加および防火戸の挟まれ事故を防止する安全装置の追加」と「複層ガラスへの変更」は、当初の設計段階で想定できたのではないのか。

〔答弁〕 本工事は、設計業務完了から法的手続きが必要な工事着工まで、かなり時間を要する大規模な工事である。その間に法律改正等が行われる可能性があることから、防火戸は工事発注後に変更することとなった。今後は、設計業務の中で関



安全・安心な教育環境を（写真はイメージ）

委員会で審査した議案

- 一般会計補正予算（第3号）
- 嘉瀬小学校校舎長寿命化改良（建築）工事請負契約の一部変更について
- 専決処分（国民健康保険税条例の改正）
- 専決処分（一般会計補正予算（第1号））
- 専決処分（一般会計補正予算（第2号））

係部署との十分な調整とともに、先行して法的手続きを行うなど業務手順の見直しを考えている。複層ガラスの導入は設計の際に検討を行っているが、断熱性のさらなる向上を図るため南側に加えて北側の窓も複層ガラスに変更した。今後は変更が生じないようにしていきたい。

〔質問〕 今後、学校の改修工事では、国の補助メニューを活用し、複層ガラスを導入するのか。

〔答弁〕 複層ガラスを採用し、教育環境の改善を進めていきたい。

〔審査結果〕 全ての議案について、可決または承認すべきものと決定。

常任委員会では、本会議から付託された議案や請願などについて審査を行っています。
6月定例会での各委員会の主な審査内容を紹介します。

経済産業委員会

補事業 強い農業づくり総合支援

【概要】生産技術高度化施設（キュウリ栽培用ハウス）を整備する農業協同組合に対して補助を行う。

【質問】どのような施設を整備するのか。清掃工場周辺には慣行栽培より高い生産性を実現しているゆめファーム全農SAGAがあるが、その付近での整備を検討しなかったのか。

【答弁】今回、新規就農する2人は、それぞれの地元で農業を行うことを希望した。整備する設備は低コストの耐候性ハウスで、環境制御も行う。二酸化炭素の発生装置など、ゆめファームの技術も活用する。

委員会で審査した議案

- 一般会計補正予算（第3号）
 - ▶麦・大豆生産技術向上事業
 - ▶中央大通り賑わい拠点整備事業
- 自動車運送事業会計補正予算（第1号）

補事業 中央大通り賑わい拠点整備

【概要】中央大通りの交流拠点であったTOJIN茶屋の跡地に、新たなにぎわい拠点を整備する。

【質問】基本計画の策定はどが主体となっていくのか。市民からの意見の集約は行うか。

【答弁】中央大通り再生会議で出されたさまざまな意見を市が中心となっていく。運営に関しては、広くサウンディング調査などを実施したいと考えている。

【意見】佐賀駅前交流広場や656（むつごろう）広場など、既存の交流拠点との差別化を検討してほしい。

【審査結果】全ての議案について、可決すべきものと決定。



大人も子どもも楽しめるスペースに！

建設環境委員会

補事業 地域公共交通再構築事業

【質問】以前よりもタクシーが見受けられなくなっているが、タクシー不足への対策は。

【答弁】日本版ライドシェアの実施や第二種運転免許取得に必要な費用を補助する等の取り組みを行っている。今後もタクシー事業者と共にさまざまな支援を検討していきたい。

補事業 次世代交通実証事業（自動運転バス実証走行）

【概要】バス運転士の働き方改革や高齢化に伴い、市内では路線バスの廃止・減便が行われるなど、運転士不足への対応が課題となっている。



前回の自動運転バス実証走行の様子

公共交通の維持のために最新技術を活用し、自動運転バスの導入に向けた実証に取り組む。

【質問】自動運転バスの実証走行が成功した後は、どのように展開しようと考えているのか。

【答弁】まずは実証走行を行う区間で、自動運転による運行ができるようしていきたい。その後の展開については、交通モードの最適な組み合わせを考える中で、自動運転バスも含めた議論をしっかりとしていきたい。

【審査結果】全ての議案について、可決すべきものと決定。

委員会で審査した議案

- 一般会計補正予算（第3号）
- 一般会計補正予算（第4号）
- 水道事業会計補正予算（第1号）
- 市道路線の認定

※1 慣行栽培………各地域で農家の多くが実践する従来型の農作物の栽培方法。

※2 ゆめファーム全農SAGA……JA全農がキュウリの多収栽培を目的に令和元年に高木瀬地区に建設した脱炭素・環境配慮型園芸施設。

※3 サウンディング調査………事業発案段階や事業化検討段階において、事業内容や事業スキーム等に関して、直接の対話により民間事業者の意見や新たな事業提案の把握等を行うことで、対象事業の検討を進展させるための情報収集を目的とした手法。